

びふか 議会 です

こんにちは。

2021年2月
北海道／美深町議会



冬・厳寒の中で輝く

第4回 定例会	補正予算・条例改正	2～4ページ
一般質問	ここが聞きたい 4議員	5～9ページ
委員会報告	高齢者福祉の現状と課題 観光事業の現状と課題	10～11ページ
私からの メッセージ	美深暮らし、冒険は続きます 豊かな自然と暮らし	逸見 吏佳 荒谷 明子 …… 14ページ

第116号

美深町議会

検索

ホームページから
議会の動きをご覧
いただけます。



この議会広報は、地球にやさしい
再生紙を使用しています。

第4回定例会

告と4議員の一般質問が行われました。
例の一部改正2件、指定管理者の指定3件など
本を採択し18日に閉会しました。

コロナの影響
びふか温泉にも

減収影響額を負担金として 上半期分1535万円補填を可決

主な質疑

質問

びふか温泉は5000万円を

長期借入しているが、今回の補正でびふか温泉減収額負担金1535万円を出さないと経営に問題があるのかどうか、コロナ対策で経営持続化給付金も入っていると、思うが新たに負担金が必要ならば立ち行かなくなるのか、見通しは。

主幹

持続化給付金は受けているが、

現場の経営状況の中では非常に厳しいという状況。行政が直営で運営しているも受ける影響であり、減収分を負担金として計上した。

質問

下半期もまた出てくるのか、

なぜ負担金になるのか、他の事業所への補助も負担金とすべきでびふか温泉を特別扱いするべきではない。

主幹

第3セクターとして、八井サー

ビスを提供する施設のため影響を受けた部分を負担金という形で今回措置。下半期についても減収が見込まれる分については、3月に精算して年間トータルで整理をして行きたい。

質問

びふか温泉減収影響額負担金を、

半期ごとに支援をする必要性は。負担金の意味と国からの給付金額は。びふか温泉の令和2年度の営業計

画では、新型コロナウイルス感染症防止対策によって経営に大きな影響を受けることはすでに織込み済みで、5000万円を超える損金が見込まれるため日本政策金融公庫から5000万円の運転資金の融資を受け対処したいとしている。本当に厳しいのか、資金ショートをせざるを得ないような状況にあるのか。

主幹

公衆浴場的な役割や町民の健康増進のための公的なサービスを提供する施設、その運営に係る部分でコロナ感染症の影響を受けた部分を負担金として整理をさせて頂いた。国からの持続化給付金は200万円を受けている。

課長

運営は第三セクターの形だが、

行政が出資して公の施設を運営しているの補助金ではなく事業主

副町長

短期借入金3000万円

返済に充て自転車操業の状況に陥っている実態。当初はコロナが長期的にしかも厳しい状況になるとは考えられなかった。一年分をまとめて負担した場合、本当に3月まで持つのかどうなのかという状況にある。

質問

それならば率直に資金繰りの

ためにお金が必要なので、当面これだけを貸し付けるとか、資本金等として投入する方法もあったのではないか。コロナの名目での資金投入に疑問。

第4回定例会が12月15日に開会し、行政報また一般会計など7会計にわたる補正予算、条全15件が審議され、全議案を可決。意見書1



中止となった事業の数々

副町長 観光の質が変化してきたことに対応してきたつもりだが、古くからの体質の中で改善できない部分もあった。コロナの影響は別問題で、公共施設について一定程度負担をすることは必要で観光拠点として存続させて行かなければならない。この状態が続けば立ち行かなくなるとの恐れがあるので何とか理解していただきたい。

事業中止や縮小で2000万円余の減額補正
コロナの影響続く一般会計補正予算審議

質問 健康管理システム改修費は、具体的にとどのよう内容とスケジュールなのか。コロナ感染症の拡大によって相当数の事業が中止により減額補正となってきたが今後の予定は。

主幹 コロナ対策のワクチン接種にかかるシステム改修を予定している。国から詳細な説明等はまだまだないが、接種対象者の抽

出や受診券の発行など予想を見込んだ計上。

課長 新年交礼会、消防出初式なども中止の予定だが、成人式は内容を変更し食をなしで実施していく。

質問者 小口・岩崎 藤原

修正案

岩崎議員から一般会計補正予算に対して、修正案が提出された。

討論

修正案に賛成

小口議員

外部専門家の意見を入れ、事業の公益性、公益性、採算性、将来見通しを精査し議会への説明と住民への情報公開を公表し、理解を求めることが必要。今までの町の開示と手法に問題があると考え、修正案に賛成する。

原案に賛成

藤原議員

コロナ感染症による減収を支援することが柱。年度3ヶ月残しての提案は、緊急性の高いものと判断。難しい選択で消極的賛成をせざるを得ないが、経営の自身は今後の議論でよいと考え原案賛成とする。

修正案否決 賛成少数
原案可決 賛成多数

意見書採択

国土強靭化に資する道路整備等に関する意見書を国へ提出

提出者 藤原芳幸
賛成者 小口英治

中野勇治
荒川賢一
名取明美

原案可決 賛成多数



意見書の内容はこちらでご確認ください

	現行日額	改正後日額	現行負担額	改正後負担額
小学生	252円	267円	189円	200円
中学生	292円	313円	219円	235円
高校生	319円	337円	240円	253円

1食当たりの給食費負担額 25%を町が助成し、75%を保護者が負担。



学校給食費値上げへ 学校給食管理条例を一部改正

近年の食料品の値上がりにより現行水準での給食提供が困難になったことから、水準が継続できるよう給食費と保護者負担額の値上げのため「美深町学校給食センター」の設置及び管理に関する条例」の一部改正案が提出されました。様々な観点から質疑と討論が行われ、原案可決されました。

主な質疑

質問 保護者への説明は。

センター長 小学校の参観日に教室のテレビを活用、中学校では対面で説明し、理解してくれたと考えている。

質問 町の助成率は25%とした根拠は。

教育次長 保護者負担額は、町長の政策予算でもあり、全道水準以下の金額とするため、積算した金額から決定した。周辺自治体と比較しても低い水準。

質問 コロナ禍にあっては生活困窮者世帯へ配慮し、値上げや負担増を見送るべき。

主幹 就学援助制度がありそちらを利用できる。申請のあった方には、給食費を全額支援している。

質問 食材の値上がりに、どのように対処しているのか。

センター長 野菜や肉・魚など価格が流動的なものの購入には、栄養価を確保したうえで極力安いものを選択し購入している。

賛成討論

食品価格の上昇で、現行水準を提供し続けるためには改正はやむを得ない。最終的には保護者や子どもたちの利益になる。
藤原議員

美深町も一定の補助をしている。保護者からも改正を理解する意見を聞いている。
田中議員

反対討論

保護者の負担が増加とならないよう、更に食材費を抑えるメニュー改善などの努力をするべき。再検討を求める。
和田議員

子育て支援の充実の観点から保護者の負担増分は町の負担とするべきであり、改正案の再提出を求める。
岩崎議員

ている。

質問者 和田・齋藤 岩崎・藤原

原案可決 賛成多数

北・北海道中央圏域
定住自立圏協定

防災に関わる協定を追加し、広域防災力向上の取組みを行う。

質問 天塩川を流域に持つ地域同士で連携は重要である。取り組む内容は。

主幹 災害を想定した職員研修会や、応援体制の制度構築などを予定。天塩川流域での協力体制構築は本町にとって有効。

質問者 荒川・藤原

原案可決 全員賛成

用語解説

北・北海道中央圏域定住自立圏協定
美深町・土別市と美深町が平成23年9月30日に締結した協定で、広域行政の推進が目的。

町の考え方を質す

一般質問

まちの課題の解決策は…

4人の議員が質問席へ!

一般質問の各ページは、質問した議員自身が質疑を要約し原稿作成をしています。

小口 英治 議員

美深町総合計画に関わる第5次の総括と第6次の重点施策について



岩崎 泰好 議員

町民の信託に応え、健全な自治体経営推進は町長の大きな仕事。課題解決の姿勢を問う

田中 真奈美 議員

子育て世代の農業者に対する支援について



名取 明美 議員

福祉施設におけるクラスター対策について

一般質問とは・・・

各議員が美深町の行財政全般にわたり町行政当局の考え方や疑問点を質すことで、執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果としては、現行の政策を変更・是正、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

① 美深町総合計画に関わる第5次の総括と第6次の重点施策について



小口 英治 議員

問 第5次総計の総括は

答 達成が9割で順調に推移

質問 移住住宅の推進について担当課は問い合わせ等がある場合、的確に対応出来るシステムは、出来ているのか。

町長 充足率も判断材料になるが課題として捉えている。

質問 農業全般になるが、労働力の確保、気候変動によるこれからの野菜栽培の考えは。

町長 ハウスの設置補助等も実施したが、立ち切れになった状況もあった。ハウス野菜を推奨する立場は堅持するが、農業者から積極的に意見が出てくる事を期待している。

質問 起業家育成支援事業は平成24年から実績がないが、意欲ある起業家を育成する方策等どのように

考えているのか。

町長 積極的に取り組む課題。個人完結型ではなく、法人化の方向で追及する時代に入ってきた。企業誘致条例もあるので後押しできる。

質問 山村留学の関係、コミュニケーション・スクール、義務教育学校、特認校制度の進捗状況は。

教育長 「コミュニティ・スクール」は全町の的に実施済み。義務教育学校は、上川教育局と調整しながら何らかの遜色ない制度上の取扱いを実施している。特認校は、学校改築時に山村留学をさらに充実させ、段階的にその後、導入に向けて相談。

質問 一般の予算で1人1台のタブレットを配備したが、リモート授業にも対応

出来る指導体制は万全か。

教育長 1月中には配備予定で、まずは使いこなせるような状況にすることが最優先。先に導入されている自治体もあるので、先進事例等を基に活用方法を有効に使えるよう研究・検討をする。

質問 当町の個人病院が3月で廃業になることは医療体制の縮小になる。広域での役割分担等安心できる医療体制の充実をどう図るのか。

町長 病院等を含め広域で取り組む

でいる部分もあるが、今後更に広域での部分の投資も必要になる。

質問 第5次総合計画画では「みんなで築く輝くまち美深」とあるが、住民参加が達成されなかった印象が私の認識。今のコロナ禍の中、町長自ら防災情報端末機による情報発信、役場公用車には所属部署のステッカーを張るなど、より住民と身近な関係になるような努力も必要ではないか。

町長 提案として受けたが、今答弁するのではなく担当も聴いているので相談をしていきたい。





岩崎 泰好 議員

① 町民の信託に応え、健全な自治体経営推進は町長の大きな仕事 課題解決の姿勢を問う

問

瀬尾医院に代わる
新たな診療所誘致は

答

厚生病院が唯一の診療機関
誘致の努力は実現していない

質問

地域医療の課題。2つの民間病院が地域医療に大きな役割を果たしてきた。その一つが廃院の方向にある。この課題にその解決にどう取り組むのか。

町長

平成元年から地域医療を支えていただいた瀬尾医院は令和3年3月で閉院となる。長年町民の健康を支え、その医療貢

献の功績は大きく重く受け止めている。恩根内診療所は、当分診療回数を見直して続けていただく。今後は、美深厚生病院が唯一の診療機関となるので、町民が安心して受診できるよう厚生連とも協議を進め、開業医誘致も取り組んでいく。

質問

一 の医療機関になるとの見解に疑問。新たな診療所の必要性の認識と誘致活動の努力が必要では。

町長

ベターな考えとして、厚生病院が唯一の病院になっていかざるを得ない現状、誘致には努力した

町長

2つの第3セクターは、しばらくの間、健全経営を

町長

2つの第3セクターは、しばらくの間、健全経営を

経緯があるが実現しなかった。



親しまれた診療所
引き継ぎは無いのか

質問

下駄ばきで行けるかかりつけ医としての存在だった

町長

常にそのようなことを心に置きながら、行動し運動も展開してきたつもり。

町長

打診は受けていない。資料は参考として検討の余地があるが、行政として様々な検討や内部努力で進めている。

問 第3セクター 課題解決の方策は

答

存続に
公費負担で対応

質問

2つの第3セクターによる行政運営について、現状認識と課題の捉え方解決の方策は。

町長

2つの第3セクターは、しばらくの間、健全経営を

町長

2つの第3セクターは、しばらくの間、健全経営を

これまでの形を変え深くかわり指導していく。

質問

国が示してきた「第3セクター等の経営健全化方針の策定と取り組み状況の公表について」の打診があったのか。資料として提出したフローチャート図のように検討を加えるべきと思うが。

町長

行政的判断を進めてきた。それはそれとして考えた

町長

行政的判断を進めてきた。それはそれとして考えた

町長

行政的判断を進めてきた。それはそれとして考えた

① 子育て世代の農業者に対する支援について



田中 真奈美議員

問 子育て世代の農業者の環境を整える支援は

答 検討しなければならないが、現状では難しい

質問

美深町の基幹産業である農業について、高齢化と後継者不足が農業の抱える問題のひとつであると考えている。今後、美深町で就農を目指すというとする担い手確保のためにも、新たな支援策を考えていくべき。農業を営む家族の悩みの一つとして、子どもが図書館などに行く場合、交通の不便さなどがあり容易に移動することができない状況にある。農作業の忙しさにより子ども送迎ができず、公共交通機関を利用するにしても便数が少なく利用料金は



高いなどの問題がある。10年20年後の美深町の農業を維持していくためにも、子育て世代の農業者が働きやすい環境をどう整えていくのか。

町長

これまで農業者が働きやすい環境を作るために、労働力確保支援対策事業・酪農ヘルパー確保事業など各事業に支援し、本年度新たにICT農業推進事業を加え支援の拡充をしてきた。子育て世代に関しては医療費助成・経済的支援など、効率的な働きやすい環境づくりや生産性の向上にも繋がっていると考えており、現段階では新たな支援策の考え方は持っていない。

質問

現在、高齢者バスタード成事業があり、年間2

町長

千円で公共交通機関やデマンドタクシーなどが無料になっているが、子どもが利用するための助成の検討は？

質問

子どもに対するスポーツ事業や学習の場があり、町営バスとして利用しているスクールバスの専用時間の改善や、デマンドタクシーの時間の

町長

見直しなど検討の考えは。

それぞれ目的のあるデマンドバスやスクールバスをどう利用するか、乗務員などの課題も多いことを理解いたしたい。ただし公共交通などの補助をしてほしいなど話は聞いている。具体的な話を整理して、支援することができかどうか検討しなければならぬが現状では難しい。





名取 明美 議員

① 福祉施設におけるクラスター対策について

問

施設従事者への町からの慰労金は

答

非常に難しいが国の対策でもある

質問

コロナ感染者の状況として特に高齢者施設においては、重篤になる可能性が高い。高齢者の命を守るために、福祉施設におけるクラスター対策について伺う。

町長

クラスター対策については、感染者が確認された場合、デイサービス等を中心し、ゾーニング対

応隔離部屋などで対応する。次に閉鎖によるクラスター対策を考えている。

質問

施設従事者への町からの慰労金について考えはないのか。

町長

財源的なことが許されるのであれば少し考えてみたいが、今の段階では非常に難しい。国の対策でもある。

質問

クラスター拡大防止にはゾーニングが重要で、徹底した指導が必要と思われるが、その認識について伺う。

町長

現時点では感染者を確認していない状態であり、感染予防を第一に取り組み感染者を出さないこと。次に感染者が確認された時は、ゾーニングなどによりクラスター対策を行う準備をしている。

質問

高齢者の活動が自粛されている中、一人暮らしや疾病を抱えている高齢者の不安が高まっている。感染が高まる時期に70歳以上の高齢者へのサポートとしてマスクを配布してはいいかがか。



町長

国からの外出自粛が発せられた場合、地域包括支援

センターが中心となり、電話や防炎情報端末機にて相談対応する。

現在、様々なイベントの中止により、運動不足が懸念されるため、

防炎情報端末機を活用した基礎体力向上を目的として動画を作成し、介護予防にも配慮している。

コロナ感染症対策とあわせてインフルエンザの感染が高まる時期に対応していきたい。マスクについては、準備があるので対応する。

質問

命を守る感染症対策に配慮し、高齢者と町民に安心してもらえる町づくりを考えなければならぬ。新型コロナウイルス

町長

美深町においては、コロナ対策本部会議を9回開催し、その時に必要な対応をしてきたが、今後ワクチン開発による予防接種により、新型コロナウイルスの終息を願うところである。

美深町においては、コロナ対策本部会議を9回開催し、その時に必要な対応をしてきたが、今後ワクチン開発による予防接種により、新型コロナウイルスの終息を願うところである。



ゾーニングとは清潔な区域(清潔区域)とウイルスによって汚染されている区域(汚染区域)を区別することをゾーニングといい、感染拡大防止のために重要です。

調査報告

総務住民
常任委員会

調査日 令和2年10月29日

調査事項 高齢者福祉・介護サービス事業(特養・グループホーム等)の現状と課題

調査内容① コロナ禍における施設の対応・サービス状況

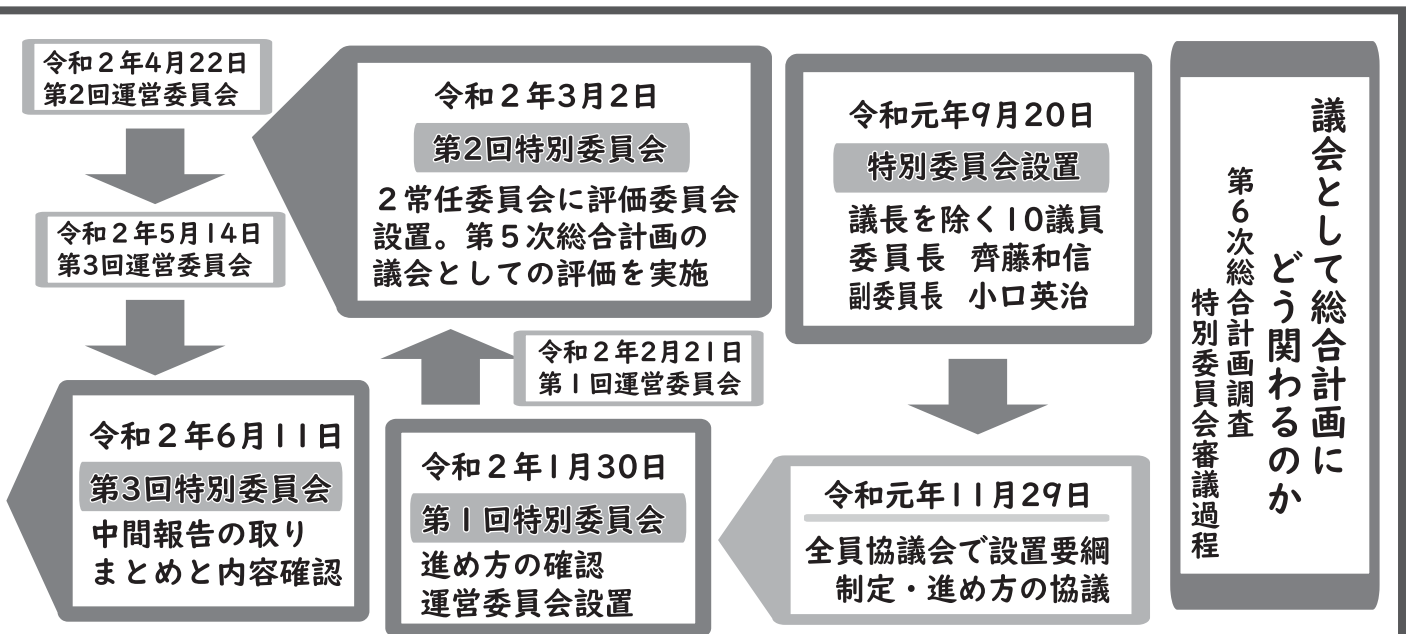
全国的に収束の見通しがつかない感染の広がりだが、本町では発生の報告がない状況。町内各施設の予防管理の徹底と町民の「感染しない・出さない」という意識の表れの結果。高齢者施設での感染発生はクラスターの可能性を否めないため、今後も油断なく感染防止対策の徹底継続が重要。

調査内容② 町内介護施設の入居状況及び待機者・住所地特例者の状況

各施設の利用状況は、ほぼ満床で待機者は特養・グループホーム等町内4介護保険指定施設で延べ73人(9月末現在)。入居が必要になったときに待たずして入居できる環境が望ましく、待機者解消に向けた方向性を次期高齢者保健福祉計画に示す必要がある。

調査内容③ 時代の変化に伴う個室化・バリアフリー化等と特別養護老人ホームの移転計画の進捗状況

グループホームでは、個室やバリアフリー化は進んでいるが、特別養護老人ホームの進捗は難しい現状にあり、老朽化と洪水時の対応にも大きな課題を抱えており、移転改修計画の概要を詰める段階にきているが未だ総論の段階である。町として町全体の施設について考え方をしっかりと持ち、美深福祉会との具体的な協議を早急に進め、移転計画が進展することを望む。



調査日 令和2年10月16日

調査事項 観光事業の現状と課題

調査内容① 観光事業の現状と交流人口

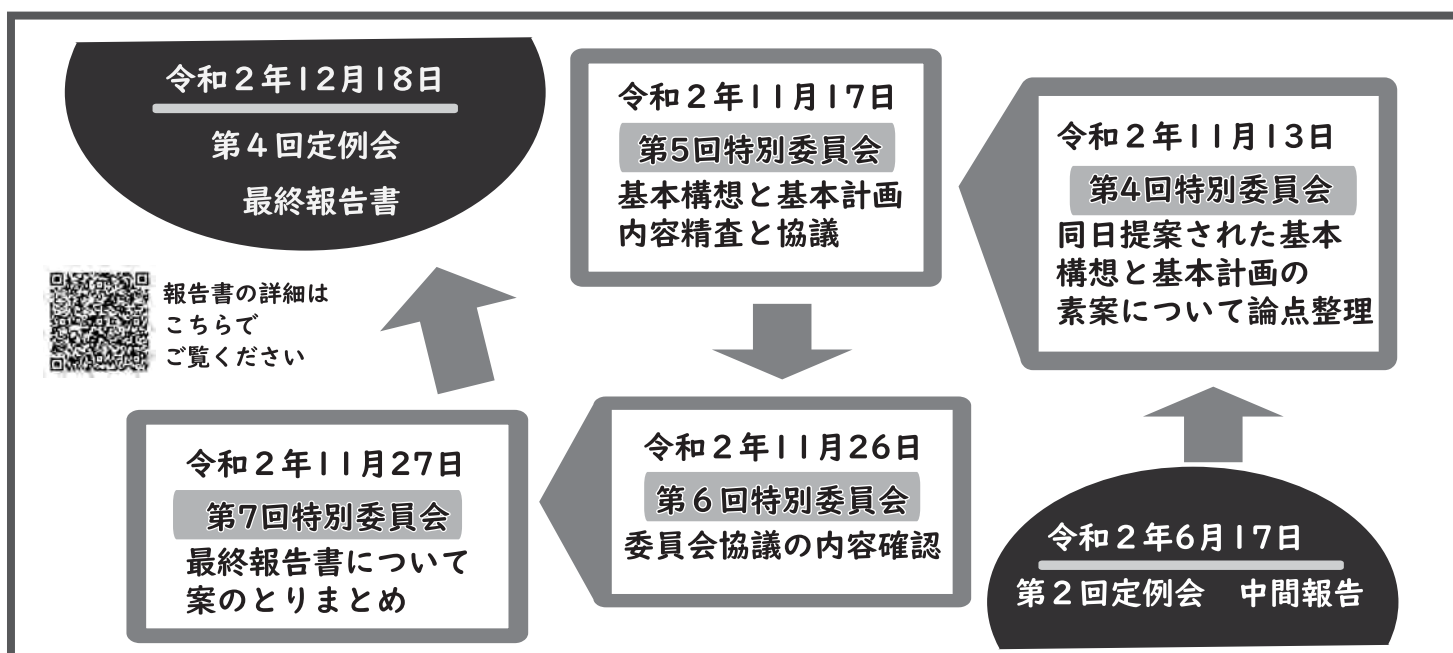
町は「観光 PRとイベント支援」「観光施設運営」「魅力ある観光づくり推進」「観光推進体制支援」の4事業に1億2075万円の実績(令和元年度)で事業推進。観光入り込み客数はここ数年43万人程度で推移。交流人口も年々増加傾向にあり新たな観光の掘り起しで交流人口増も期待されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大による自粛要請で、観光事業やイベント中止により観光客・交流人口の入込客数は半減の予測。

調査内容② コロナ対策への対応

コロナ禍の観光では、町民向けイベントと観光客誘致への取り組みの仕分けが必要で、ウイズコロナ時代の観光事業の開催推進を図るべく対処すべき。

調査内容③ 今後の観光の進め方

観光をひとつのビジネスチャンス「稼ぐ観光」として、地域経済の活性化のために各種業態の事業者が連携することや町民一人一人がわが町の魅力をPRし、来町者へのおもてなし「ホスピタリティの精神」を醸成することが必要。町行政においては、現状の細かな分析と効果的な戦略戦術を導き出す役割があり、観光協会を中心に推進している観光事業の様々な課題について問題の整理と戦略戦術を検討する機会づくり、戦略プランの作成と意欲的な人材育成への支援が必要である。そのためにも、国が推奨する観光地域づくり法人の設立を視野に入れた組織体制の整備が求められる。



議会広報 112号のアンケート調査から

9人の方からお返事をいただきました

問1 110号〜112号の議会広報を通して、議会の様子があなたに伝わっていますか。

不十分 0人
普通 5人
十分 4人

問2 内は議会広報「予告版」にリニューアルしましたが、議会への関心は増しましたか。

定例会のご案内は議会広報「予告版」にリニューアルしましたが、議会への関心は増しましたか。

減った 0人
変わらない 3人
増した 6人

問3 定例会後速やかに議会広報「速報版」を発行する取り組みを進めています。議会への関心は増しましたか。

減った 0人
変わらない 3人
増した 6人

問4 110号〜112号で興味をもって読まれた記事・関心を引いた記事は(複数回答可)

審議内容 4人
一般質問 7人
委員会報告 4人
議会の動き 2人
私からのメッセージ 1人
函岳のめ 2人
編集後記 3人
新企画の小・中・高校生との座談会 4人
その他 2人

問5 議会広報特別委員会では、広

問6 他の市町村議会広報では、情

聴の充実のため「出前講座と意見交換会」を企画しています。町の様々な課題について意見交換してみたいとお考えですか。

してみたい 4人
したくない 1人
どちらともいえない 4人

報共有のためさまざまな広報活動を進めています。我が町で最初に取り入れたらいいと思うものは何でしょうか。

ホームページ充実 3人
議会中継 2人
議会広報モニター 2人
その他 1人

ご意見・ご感想を一言

- 新企画はどんどん続けてほしい。(60・70代、男性)
- 住民参加と議会強化に向け議会基本条例を作るべき。(60・70代、男性)
- 美深は高齢者も多いはず。アプリサービスもよいのですが年金暮らしのお年寄りにスマホを持つ余裕もなく、使えない人もいます。高齢者に必要なのはボタン一つで救急車が来てくれることかも。(60・70代、女性)
- 議会広報の字が大きくなって読みやすくなりました。(80代以上、女性)
- 美深町は人口減少の傾向にあり、これからも人口が減る可能性もあります。移住促進事業を行い、住宅や公営住宅を建てて、販売したらよいと思います。全国から移住者を募集することです。(40・50代、男性)
- 議員は町民の代表である。行政に要望・意見を述べた後、その結果を報告する義務がある。これが情報公開であり、もっと結果、状況の報告をすべきである。取り敢えずの質問にならないように願う。住民との意見交換会。これも情報公開である。結論はあと。(60・70代、男性)
- 文字が多く子育て中は読む時間がないため、簡潔にまとめてもらえると嬉しいです。写真や図・表などがあるとイメージが付きやすいと思います。(20・30代、女性)
- 2名の女性議員の発言がとても新鮮でした。70歳以上の方のイベント(スポーツ・ゲーム・一日ボランティア)等も心身ともにリフレッシュできそう。(60・70代、女性)
- 議会と町民との距離が近くなったように感じ、より議員の皆様への関心も高まっているように感じます。日々美深町への活動ありがとうございます。町民の声・想いを形にしてください。(40・50代、女性)

表紙を飾る人

上

▼ボランティア除雪に汗する高等養護学校の生徒達。開校以来、独居老人宅の除

▼厳寒の冬にキラキラした笑顔が輝きます。

雪をし地域住民の力となつていきます。

▼逸見佳代さんと「美深エアフォース」の皆さん。逸見さんと美深町は15年来の交流があります。

●貴重なご意見ありがとうございました。今後も議会に関心を持ってもらえるように努力します。



函岳のめ

令和2年は多くの国の人々が困惑した一年であった。新型コロナウイルス感染症の発生で、北海道はいち早く緊急事態宣言を出し、学校の休校、イベントの中止、新しい生活様式と目に見えないものに怯え、今もその脅威と静かに戦っている感じが、地球に住む私達

が試されている気がしてならない。試されるといえば道民なら「試される大地。北海道」という言葉が頭に浮かぶと思うのだが、これは平成10年に北海道イメージアップキャンペーンで使われたキャッチフレーズで「自らに問いかける」「世に問う」というプ

ラス志向を示す言葉であるとともに、前向きな挑戦する気持ちTR Y(トライ)の意味が込められているそうだ。平成28年からは「その先の、道へ。北海道」というキャッチフレーズに変わっているのを先日ぼんやりと思い出した。北海道が未来や世界に向かっていこう

とする動きや、雄大な自然の中で地平線まで続く道をイメージしている。そしてイメージソングもある。令和3年度には第6次総合計画もスタート。美深町としても今だから挑戦する気持ちとそれから挑戦する道をしっかりと見据え、進んでいくことが大切だと思う

のである。マイナスの意味の「試される」をプラスの気持ちに変えて「その先の、道へ」ひとりひとりが生きていく。そして「そんなこともあったね」と思える日が早く訪れますように。

田中 真奈美 記

名寄地区衛生事務組合議会報告

規約の変更が審議されました。

現在、炭化ごみ、一般埋め立てごみ、し尿・汚泥処理は名寄市・下川町・音威

子府村・美深町の広域連合で共同処理しています。

現在の炭化センター（名寄市内で稼働）は運転開始後16年が経過し、更新時期が迫っています。次期計画で焼却方式へ転換するため、これまでの規約を変更します。焼却施設の建設により、現在の埋め立て処分場の搬入量が抑制され施設が延命されます。供用開始は令和9年の予定です。市町村議員（13名）で構成する衛生事務組合議会で原案可決されました。

上川北部消防事務組合議会報告

12月4日に開かれた定例会で、一般質問に立った岩崎泰好議員は「多様化する社会や環境の変化の中で、救急業務の課題に

どう向き合うのか」をテーマに、美深町議会決算委員会と併せて行っていた「事例にみる医療機関の選定では、業務実施規定の見直しや運用改善の必要性」について消防議会議事録に掲載し、理事者に質問しました。

議会の動き・予定

11/12	議会運営委員会	12/9	議会広報特別委員会
11/13	全員協議会	12/15	議会運営委員会
11/13	第6次美深町総合計画	12/15	第4回定例会開会 提案説明、一般質問
11/17	調査特別委員会	12/18	議会運営委員会
11/17	第6次美深町総合計画	12/18	議案審議、定例会閉会
11/26	調査特別委員会	12/18	全員協議会
11/26	第6次美深町総合計画	12/18	議会広報特別委員会
11/27	第6次美深町総合計画	12/18	議会広報特別委員会
11/30	調査特別委員会	12/18	議会広報特別委員会
11/30	議会運営委員会	12/18	議会広報特別委員会
11/30	第6回臨時議会	12/18	議会広報特別委員会
11/30	議会運営委員会	12/18	議会広報特別委員会
12/8	議会運営委員会	12/18	議会広報特別委員会
		1/8	議会広報特別委員会
		1/12	議会広報特別委員会
		1/22	議会広報特別委員会
		2/10	議会広報特別委員会 産業教育常任委員会 所管事務調査

議会広報モニター募集

●募集人数は10名程度
●お問い合わせ
②1651(議会事務局)

「美深暮らし、冒険は続きます」

逸^{へん}見^み吏^り佳^か

2004年に山村留学がきっかけで、長女と共に仁宇布地区に移住して、17年が経ちました。当時は、何事も人のせいになく、新しい生き方を求めて来まし

た。拙い経験で納得できる暮らしは、とてもシンプルなものになります。そんな素朴な暮らしを夢見て来たのです。ですが、素朴な暮らしは思った以上に過酷で、実際には、人の

支えなしには生きられないことを実感しました。多くの方に支えられて、今に続いていると感謝しています。2015年、羊肉産業の副産物である羊毛を主役にした、フェルト製品の企画制作販売をする「粗青草堂（ソセイソウドウ）」を事業化しました。主にウールフェルトの服、バッグ、ルームシューズなどを作り、夏は工房併設の



私からのメッセージ

美深町民のおふたりからメッセージをいただきました。

仁宇布小中学校へ通う四男の山村留学に付き添い、昨年春から美深町民になりました。

4月に親子3人で越してきた時は、一面が腰の高さまでの真っ白な雪に覆われていま

で、人はささやかに生かされている存在であることを知らされる思いがします。

羊毛のゴミを除き川で洗い乾かして梳き、ふわふわの断熱材を作りました。120頭分の羊毛で断熱された住宅は寒いところがなくなり、灯油の使用量を例年の半分以下に減らしても快適です。

「豊かな自然と暮らし」

荒^{あら}谷^{たに}明^{あき}子^こ

折しもコロナ禍で外出がはばかられる事態にもなり、暮らしを見つめ直したい思いに促され、周りの方々といくつかの工夫を試みしました。

築54年の住宅を町内産の羊毛で外断熱する試みはその一つです。週末ごとに呼びかけて、

